

日本人の心のあり方や日本の伝統文化について考える「薬師寺まほろば塾」の東京塾(法相宗大本山薬師寺、読売新聞社主催)が2日、東京都千代田区のみうり大手町ホールで開かれた。ウクライナ難民支援や世界平和を祈願する法要が営まれ、老川祥理が基調講演。能楽師の観世喜正師による半能「敦盛」の特別公演もあり、参加者は今も侵略に脅かされるウクライナの人々に思いをはせた。

戦争の悲惨さ 伝え

半能「敦盛」



平和への思いを込めて披露された半能「敦盛」

◇能楽師・シテ方観世流 観世喜正 かんぜ・よしまさ 1970年、東京生まれ。観世喜之さんの長男で、2歳で初舞台を踏んだ。矢来能楽堂(東京都新宿区)を中心に、全国各地の公演に数多く出演。講演や育成活動も行い、能の普及に取り組んでいる。薬師寺では、古都に春を告げる行事「花会式」(修二会)の百華能にも幼少期から出演している。

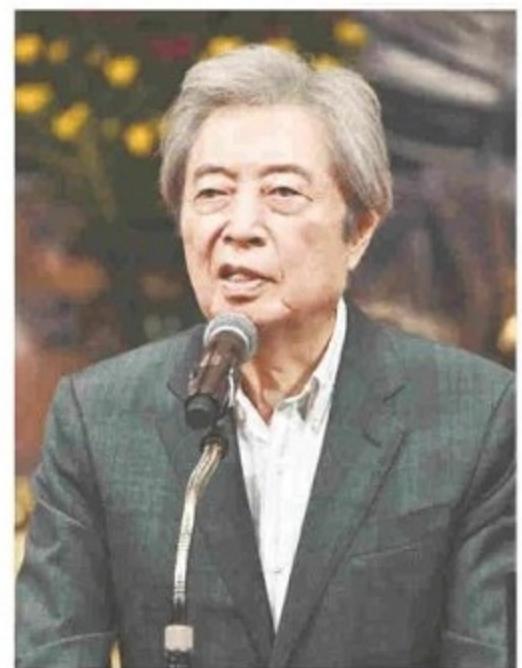
世界の平和 切に願う

まほろば塾

東京

細川護熙

まほろば塾推進の会会長



露の侵攻 我が事として

コロナ禍で自由に外を動き回れない日が続いているが、この間、国内外で色々なことが起きた。今年2月には、ロシアがウクライナを侵攻して世界が驚いた。多くのウクライナの人たちが国外へ逃れ、

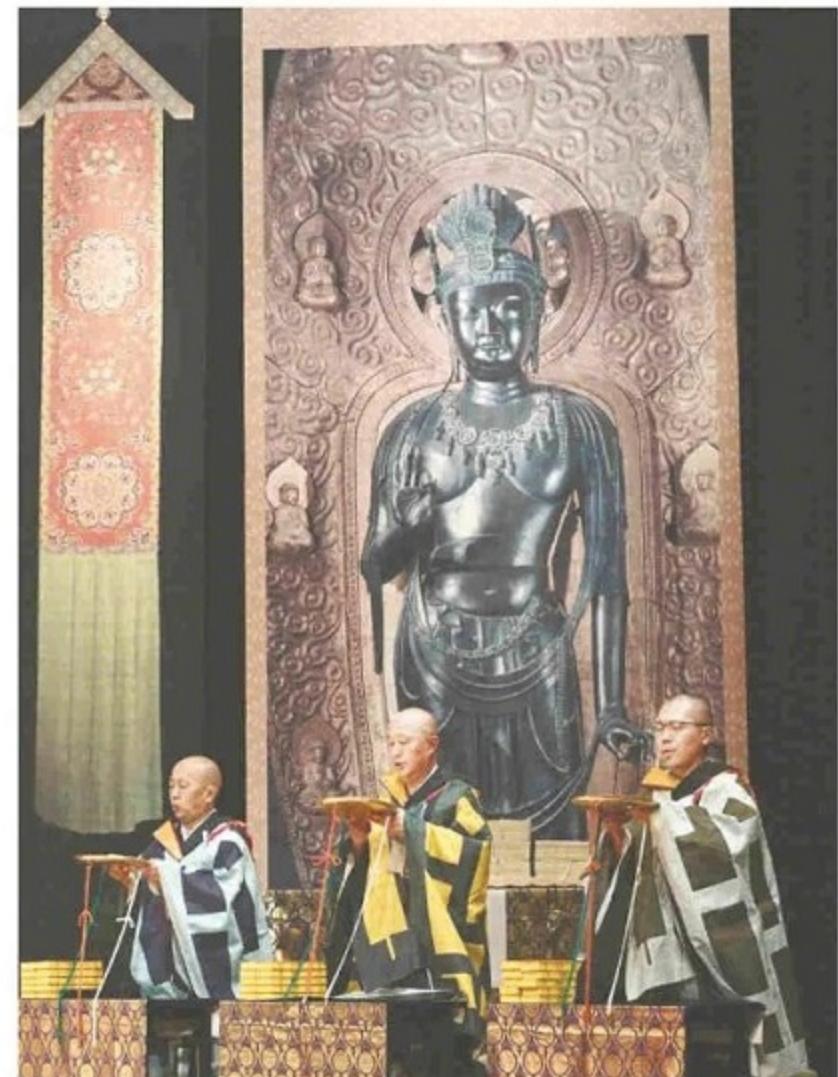
コロナ禍で自由に外を動き回れない日が続いているが、この間、国内外で色々なことが起きた。今年2月には、ロシアがウクライナを侵攻して世界が驚いた。多くのウクライナの人たちが国外へ逃れ、

私は展覧会で得た収益を国連難民高等弁務官事務所を通じ、ウクライナの人道支援のために贈らせていただいた。また、全国の15あまりの企業や団体などに募金箱を置いてもらっている。

薬師寺にも募金箱を置いている。世界には人道支援をしなければならないところがあちこちにある。こうした活動を通じて、引き続いだいしてお勤めをさせていただいています。

ければならない。

まほろば塾推進の会会長 細川護熙 ほのかわ・もりひろ 1938年、東京生まれ。日本新党代表を経て93~94年、内閣総理大臣。政界引退後は陶芸や書、水墨などを手がけている。



ウクライナ難民支援と世界平和祈願の法要。大般若經の転読が行われた

ウクライナに心寄せ 法要

基調講演 報道から考える「まほろばの心」

人と会い 心を養おう

物で栄えて心で滅ぶ、ということにならないよう、まほろばの心、つまり心の美しさを大切にしようと、2004年からまほろば塾を開催しています。

現実はどうか。児童虐待や、

周囲を巻き添えにする「拡大自殺」など、信じられないことが次々起き、報道にあたる者として心を痛めています。背景には両親や祖父母が同居する2世帯の住居が多かったが、現代では多くの核家族です。マンションの一室で赤ちゃんと一緒に暮らし、なかなか泣きやまず、

盛の靈が、かつての敵である直実を赦す――というストーリー。後世の文楽や歌舞に影響を与えた。

「戦争の悲惨さと赦し」を伝える物語であることかく、ウクライナ難民支援を目的とする東京塾の公演の

演目を選ばれた。公演では、囃子方の厳かな調べの中、華麗な舞が披露され、会場は幽玄な世界に包まれた。

老川祥一 読売新聞グループ本社代表取締役会長
(まほろば塾推進の会副会長)

能楽師の観世喜正師によると、特別公演では、半能「敦盛」が披露された。作者は世阿弥。源平合戦の「一ノ谷の戦い」(1184年)で、源氏の武将・熊谷直実が、当時16歳だった平敦盛を討ち取った後に古戦場で出会った敦盛の靈が、かつての敵である直実を赦す――というストーリー。後世の文楽や歌舞に影響を与えた。

「戦争の悲惨さと赦し」を伝える物語であることかく、ウクライナ難民支援を目的とする東京塾の公演の

演目を選ばれた。公演では、囃子方の厳かな調べの中、華麗な舞が披露され、会場は幽玄な世界に包まれた。

老川祥一 読売新聞グループ本社代表取締役会長
(まほろば塾推進の会副会長)

ボルテールが論語の「己の欲せざる所、人に施すなれ」という言葉を引用しているように、自分がされたら嫌なことを人にしてはいけないというの

が、古今東西の道徳の原点でし

ょう。これさえ守れば、今のよ

うな痛ましい事件は、かなりな

くなるのではないか。

が飛び交っています。背景に

スマートフォン、SNSなど

では、一般市民が他人の悪口、

等身大の掛け軸が安置され、

大谷徹哉執事長が、参加し

た約250人に、「この国の、

この星の、全ての方が幸せになれるよう」と、祈りの声を

上げていただければ」と呼びかけた。

法要では、600巻に及ぶ

「大般若經」を扇のよう

広げ、次々と読経していく「大

舞台上には、薬師三尊像の等身大の掛け軸が安置され、大谷徹哉執事長が、参加した約250人に、「この国の、この星の、全ての方が幸せになれるよう」と、祈りの声を上げていただければ」と呼びかけた。

法要では、600巻に及ぶ

「大般若經」を扇のよう

広げ、次々と読経していく「大

が、古今東西の道徳の原点でし

ょう。これさえ守れば、今のよ

うな痛ましい事件は、かなりな

くなるのではないか。

が飛び交っています。背景に

スマートフォン、SNSなど

では、一般市民が他人の悪口、

等身大の掛け軸が安置され、

大谷徹哉執事長が、参加し

た約250人に、「この国の、

この星の、全ての方が幸せになれるよう」と、祈りの声を

上げていただければ」と呼びかけた。

法要では、600巻に及ぶ

「大般若經」を扇のよう

広げ、次々と読経していく「大

が、古今東西の道徳の原点でし

ょう。これさえ守れば、今のよ

うな痛ましい事件は、かなりな

くなるのではないか。

が飛び交っています。背景に

スマートフォン、SNSなど

では、一般市民が他人の悪口、

等身大の掛け軸が安置され、

大谷徹哉執事長が、参加し

た約250人に、「この国の、

この星の、全ての方が幸せになれるよう」と、祈りの声を

上げていただければ」と呼びかけた。

法要では、600巻に及ぶ

「大般若經」を扇のよう

広げ、次々と読経していく「大

が、古今東西の道徳の原点でし

ょう。これさえ守れば、今のよ

うな痛ましい事件は、かなりな

くなるのではないか。

が飛び交っています。背景に

スマートフォン、SNSなど

では、一般市民が他人の悪口、

等身大の掛け軸が安置され、

大谷徹哉執事長が、参加し

た約250人に、「この国の、

この星の、全ての方が幸せになれるよう」と、祈りの声を

上げていただければ」と呼びかけた。

法要では、600巻に及ぶ

「大般若經」を扇のよう

広げ、次々と読経していく「大

が、古今東西の道徳の原点でし

ょう。これさえ守れば、今のよ

うな痛ましい事件は、かなりな

くなるのではないか。

が飛び交っています。背景に

スマートフォン、SNSなど

では、一般市民が他人の悪口、

等身大の掛け軸が安置され、

大谷徹哉執事長が、参加し

た約250人に、「この国の、

この星の、全ての方が幸せになれるよう」と、祈りの声を

上げていただければ」と呼びかけた。

法要では、600巻に及ぶ

「大般若經」を扇のよう

広げ、次々と読経していく「大

が、古今東西の道徳の原点でし

ょう。これさえ守れば、今のよ

うな痛ましい事件は、かなりな

くなるのではないか。

が飛び交っています。背景に

スマートフォン、SNSなど

では、一般市民が他人の悪口、

等身大の掛け軸が安置され、

大谷徹哉執事長が、参加し

た約250人に、「この国の、

この星の、全ての方が幸せになれるよう」と、祈りの声を

上げていただければ」と呼びかけた。

法要では、600巻に及ぶ

「大般若經」を扇のよう

広げ、次々と読経していく「大

が、古今東西の道徳の原点でし

ょう。これさえ守れば、今のよ

うな痛ましい事件は、かなりな

くなるのではないか。

が飛び交っています。背景に

スマートフォン、SNSなど

では、一般市民が他人の悪口、

等身大の掛け軸が安置され、

大